



雅楽の演奏は今年が初めてでした。



山本讓二さんの「長門峡」を課題曲にしたカラオケ大会で1位に輝いたのは田村光之さん(大野)でした。

11月3日(土)、恒例の第31回もみじ祭りが道の駅長門峡周辺で行われました。朝晩の冷え込みが厳しく紅葉が順調なうえ、当日はよい天気にも恵まれ多くの人に深まりゆく長門峡の秋を楽しんでもらうことができました。

なお、ステージ式典では第60回長門峡スケッチ展特選の部の表彰式も行われ、60回を記念して「最優秀賞」も設けられました。(3面参照)

11月3日長門峡もみじ祭



今年も出場した「よさこい」の迫力ある演技

もみじ祭り



開会式であいさつする実行委員長の貝森義典さん。後方は、山口市長の渡辺純忠様はじめ来賓の方々



人通りが絶えない洗心橋付近の売店



こんなにたくさん鮎を取った子もいました。



林隆雄さん(渡川)のチェーンソーアートの作品では子どもたちが楽しそうに遊んでいました。それにしても動物がよくできていますね。

農家民泊に満足の声

SLの里で農家に泊まる 阿東秋のムラたびモニターツアー



宿泊先で記念撮影

11月17日(土)~18日(日)、あとうスロー・ツーリズム推進協議会(事務局:あとう観光協会)主催の「SLの里で農家に泊まる、阿東秋のムラたびモニターツアー」が篠生を中心に行われました。

福岡、広島から20~40代の女性5人と子ども2人が参加、SL撮影からスタートし、長門峡梨組合での梨農家との交流、「実り会」の皆さんとの梨パイづくりなどを体験しました。夜は見附と親睦の農家3軒に分かれて宿泊し、篠生の皆さんとの交流を楽しみました。

参加した人からは、「梨が晩秋にも食べられることや梨農家の仕事があった。」「家庭に入ると地域のことがよく分かり愛着がわいた。」「違う季節に親戚や友達と一緒に来た。」「などの声が聞かれました。受け入れ農家からは「気遣いはあったが、参加者との交流が楽しかった。」という感想がありました。

協議会では、食を活かした体験交流・滞在型の観光(スロー・ツーリズム)を推進し、阿東での暮らしに潤いをもたらす、人々を元気にする取組を進めていくことにしています。



梨パイづくり体験

第60回長門峡スケッチ展

長門峡スケッチ展(長門峡観光協会ほか主催)の受賞者(篠生のみ)は下のとおりです。(敬称略)

今年は大殿中など7小中学校から昨年を上回る135点もの応募がありました。長い歴史をもつスケッチ展、これからも長門峡のPRに役立つことを期待しましょう。(2面関連)



休の入(へ)セ表選写
ン彰・真左
タ式佳左
ー(作
で)自の
然部

☆特選☆
さくら小1年 中野菜摘

☆入選☆
さくら小1年 梅田歩実
" 2年 久野愛奈
" 5年 栗田成美

☆佳作☆
さくら小1年 濱安泰地
" 2年 板垣陽祐
" 2年 杉 勇作
" 2年 住江和奏
" 5年 林 幹太
阿東中 1年 巻鞘知歩

ぶっくんを利用しよう

移動図書館



児童もこ日ぶ
書向とまっ
もけがでく
たので十ん
く絵き冊は
さん本ま以、
。新。借の
刊子り巡

◎巡回場所:篠生分館

◎巡回日:2週間に1回、月曜日

◎巡回時間:10時00分~10時50分

(12月) 24日

(1月) 14日 28日

(2月) 11日 25日

(3月) 11日 25日

えにるを中ぶ
るなの選かつ約
かいでびらく三
も本、替毎ん万
。に図え回蔵冊
出書て内書も
会館い容のの

